



「リニア・インパクト」を見据えた都市戦略

—名古屋駅西側の再編をめぐる「まちづくり体制」の構築—



経済・経営



Keywords

都市再開発、エリアリノベーション、ライフストーリー



林 浩一郎 准教授

所属

人間文化研究科 都市政策

専門分野

地域社会学、「都市再生」の社会学、まちづくり研究

所属学会

地域社会学会、日本都市社会学会、東海社会学会など

HP

<https://nrd.nagoya-cu.ac.jp/profile/ja.3436ac179a0ec2ef.html>



研究概要

リニア開業により、名古屋駅西側の企業構成、地域社会構成が、大きく変化します。この地の主体が、いかなる意志を持ち、いかなるアクションを起こすか。「駅東」とは違う「駅西」の魅力を残しつつ、持続可能な発展をとげるには、地域主体の動向が重要です。

「リニア・インパクト」に対峙するために、駅西はどのような開発を構想していくのか。この地の再開発・エリアリノベーション・まちづくりの展開をアクション・リサーチしています。

① 関連する論文

- 林浩一郎, 2016, 『「リニア・インパクト」を見据えた都市戦略——名古屋駅西側の再編をめぐる『まちづくり体制』の構築』『計画行政と中部』29.
- 別所良美・林浩一郎編, 2017, 『名古屋駅西におけるリノベーションまちづくりの可能性——「現代の家守」と持続可能な都市と地域社会を考える』.
- 林浩一郎編, 2018, 『リニア駅上部空間をめぐるパークマネジメント戦略——名古屋駅西におけるエリアリノベーションの可能性』.
- 林浩一郎, 2019, 「『リニア・インパクト』を見据えた稼ぐまちづくり運動の行方」『東海社会学会年報』11.
- 林浩一郎, 2020, 「リニア開発主義の構造と主体——名古屋駅西地区におけるリノベーション事業と〈草の根〉の新自由主義」『日本都市社会学会年報』36.

👍 今後の展望

名古屋駅西エリアを活性化させるため、民間・行政・大学が連携した共同行為を目指します。同時に、新自由主義化された開発主義のなかを、人びとがいかに生き延びるかを研究しています。

問い合わせ

産学官共創イノベーションセンター
 (桜山キャンパス本部棟2階/事務局学術課内)
 〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地
 (名古屋市営地下鉄桜通線「桜山」駅③出口すぐ)
 ☎ 052-853-8309 FAX 052-841-0261
 ✉ ncu-innovation@sec.nagoya-cu.ac.jp

第3回名古屋市立大学 リニア・シンポジウム



報告集

2017年3月

—持続可能な「駅西」のために—

名古屋市立大学 人文社会学部/大学院人間文化研究科
 別所良美・林浩一郎 編



研究者からのメッセージ

「リニア・インパクト」は、JRや行政や大手ディベロッパーだけが起こすものではありません。それを活せるか否かは、他でもない地域に生きる市民自身にかかっています。